

2024年度活動概要

オーラルコミュニケーション研究会

オーラル・コミュニケーション研究会では夏の JACET 国際大会で研究会としてワークショップを実施した (Title: Enlightening and Empowering the University Classroom Community through Improvisation 発表者: ムーディ、塩沢、草薙、齋藤)。その後、オンラインで9月に会議を開催し、毎年恒例の行事である、オーラル・コミュニケーション・フェスティバル(OCF: 研究会メンバーが指導する学生や本人が一堂に会して日頃の実践研究の成果を披露し、鑑賞・評価しあう会)について検討し、12月14日(土)に文教大学で開催することに決定した。当初予定と場所や日時が変更となったため、参加大学がやや少なめではあったが、今回は専門家のコメンテーターを招くことができ、充実した大会となった。

参加大学と演目は下記の通りである。明星大学は歌唱、その他は創作劇(童話や映画、小説などをベースにして編集・脚色したものや、アカデミックな内容をインタラクティブな発表にしたものなど)である。

青山学院大学 “Gone Girl”

甲南大学 “It’s Christmas”

鶴見大学 “an Ant and a Grasshopper Study for Entrance Exams”

同志社女子大学 “MBTI in Action: Personality Snapshots & Kyoto Travel Tips”

明星大学 “If You Love Me, My Way”

公立鳥取環境大学 “Nashitarou”

名古屋外国語大学 “Macbeth Meets Frozen”

文教大学 “Momotaro and his New Friends”

講評: Mr. Kevin Bergman

自らも俳優であり、長年、東京の中学・高校・大学で英語ならびに英語劇の指導に携わってこられた Bergman 氏による口頭ならびに文書での詳細な講評は的確で、今後の発表ならびに指導に役に立つものであった。今後もこのように然るべき専門家から講評をいただき、OCF をより価値のある実践研究の場にしていきたい。

また、研究会メンバーは個別、もしくはグループでオーラル・コミュニケーション関係の実践研究をしており、JACET 全国大会やその他の学会で積極的に発表を行っている。2024年10月にはメンバー3名(塩沢・草薙・齋藤)が国際表現言語学会(IAPL)でワークショップを実施し、オーラル・コミュニケーションの活動や人的ネットワークを上げた。

このような活動に興味のある方は下記にご連絡のうえ、ぜひOCFを見学にいらしていただきたい。

オーラル・コミュニケーション代表 塩沢泰子 yasuko@bunkyo.ac.jp